

## 開催報告

- ・みがかずば研究員交流会
- ・2022年度サマープログラム
  - 第21回IGLセミナー サマプロ特別講演会 “Sticking out or standing out - Leveraging diversity as a strength”
  - 第22回IGLセミナー サマプロ特別講演会 “WOMENOMICS IMPERATIVE”
  - 第23回IGLセミナー サマプロ特別講演会 “Quality education for all : SDGs and Japan’s international cooperation”
  - 第24回IGLセミナー サマプロ特別講演会 “Education for Sustainable Development in Japan”
- ・第25回IGLセミナー 「社会と音楽をつなぐ方法とは～女性リーダーが拓くインクルーシブアーツの可能性」

## 前期授業報告

- ・グローバル・リーダーシップ実習 I
- ・お茶の水女子大学論
- ・キャリア開発特論(基礎編)

## 德音塾

- ・2022年度前期活動報告
- ・後期2022年9月～2023年2月開催の講座

## お知らせ

- ・IGLから

## 2022年度後期IGL関連授業

- ・後期集中講座  
2022年度「アカデミック女性リーダーへの道(実践編)」開講
- ・後期授業

## 開催報告

### みがかずば研究員交流会

2022年度みがかずば研究員交流会を7月22日(金)に開催しました。

本学では2012年度より、すぐれた女性研究者の継続的な研究活動を支援するとともに、女性研究者が研究中断後に円滑に研究現場に復帰する機会を提供するために、本学独自の特別研究員(呼称:みがかずば研究員)制度を導入しています。

4年ぶりの対面開催となった交流会は、研究員が主体となり企画と運営を行いました。各研究員が自身の研究に関する動画を事前に作成、共有し、当日は、研究所所属の先生方や他の研究員と活発な議論を交わしました。また、小林誠研究所長による講演も実施され、研究の意義を熟考する会ともなりました。グローバルリーダーシップ研究所では今後も半年に一度を目途に交流会を開催する予定です。

(参考)

女性研究者のための研究継続奨励型「特別研究員制度」(通称「みがかずば研究員制度」)の創設について HP:

<https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/introduction/d003276.html>

文責:堀田 華  
(企画戦略課 男女共同参画担当 係員)



## 2022年度サマープログラム

日時:2022年6月20日(月)–8月6日(土)

対象:本学学部生・大学院生、本学(国内・海外)協定校生

使用言語:英語・日本語

参加者数:海外協定校生28名(9大学8カ国)、国内協定校生2名、本学学生95名

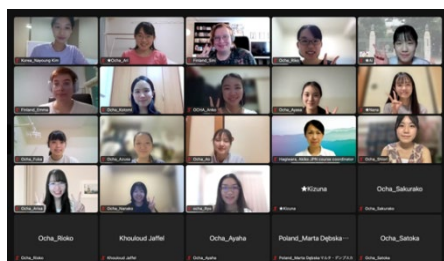
プログラム内容:毎年開催しているサマープログラムですが、今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためオンライン開催となりました。今年度は海外学生と本学学生が協働して取り組むプロジェクトワークが6月20日に始まり、プロジェクトワークが終了した後、7月18日より



日本語学習者のためのJapanese Language Course、7月25日から英語によるSubject Based Courseが始まりました。また、今年度からの試みで「国際交流実習Ⅰ」が開講され、サマープログラムにおいて、海外学生との交流を促進し、さまざまな企画を立案、運営をするサマープログラム運営委員会を授業化しました。受講学生を中心にリーダーシップ、異文化間理解、そして日本語教育に関する3つの柱による取り組みを行いました。

文責:松田 デレク

(国際教育センター 兼 グローバルリーダーシップ研究所 講師)



## 第21回IGLセミナー サマプロ特別講演会

### “Sticking out or standing out - Leveraging diversity as a strength”

日時:2022年6月20日(月) 18:00–19:30

ゲスト講師:宮地純氏(カルティエ・ジャパン 社長&CEO)

対象:サマープログラム履修者、本学学生及び教職員

使用言語:英語

参加者数:75名(対面25名、オンライン50名)

共催:グローバルリーダーシップ研究所

Ocha Summer Program 2022 Special Lecture

講義内容:本講演会は3部編成で行われました。まず、最初に宮地氏の生い立ちについて簡単に説明があり、自身の人生においてターニングポイントとなった出来事を学生の視点に立ってわかりやすく話されました。次に、学生自身にモチベーショングラフを作成させ、過去を振り返ることで今の自分自身の立ち位置などについて確認をする

機会が設けられました。最後に事前に受け付けていた質問に回答いただくとともに、当日の参加者からの質問にも全てご回答いただきました。

文責:松田 デレク

(国際教育センター 兼 グローバルリーダーシップ研究所 講師)



## 第22回IGLセミナー サマプロ特別講演会 “WOMENOMICS IMPERATIVE”

日時:2022年7月19日(火) 18:00–19:30

ゲスト講師:キャシー松井氏(General Partner, MPower Partners)

対象:サマープログラム履修者、本学学生及び教職員

使用言語:英語

参加者数:109名(オンラインのみ)

共催:グローバルリーダーシップ研究所

Ocha Summer Program 2022 Special Lecture

講義内容:本講演会では、「ウーマノミクス」の概念について説明があった後、日本の企業にとって財務指標だけでなく、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)要素を考慮したESG経営が重要であることを述べられました。また、女性活躍とは単に就業率を上げるだけでなく、男女が平等な条件で働くことが重要

であることを強調しました。現在は、女性活躍に着目している日本ですが、海外の大企業をみるとさまざまなバックグラウンドを持った人々を従業員として迎えるだけでなく、決定権を持つ役職にも就いていることが一般的になってきています。そのような観点からすると日本の企業はもっとダイバーシティを包摂することに注力していかないとイノベティブなアイデアというのは生まれてこない可能性があるかと警鐘を鳴らしました。

文責:松田 デレク

(国際教育センター  
兼 グローバル  
リーダーシップ研究所  
講師)



# 第23回IGLセミナー サマプロ特別講演会

## “Quality education for all: SDGs and Japan’s international cooperation”

日時:2022年7月20日(水)09:00-10:30  
 ゲスト講師:小泉高子氏(国際協力機構人間開発部 次長(計画担当))  
 対象:サマプログラム履修者、本学学生及び教職員  
 使用言語:英語  
 参加者数:58名(オンラインのみ)  
 共催:グローバルリーダーシップ研究所  
 Ocha Summer Program 2022 Special Lecture  
 講義内容:本講演会では、国際協力機構(JICA)が特に途上国における教育支援においてどのような取組みをしてきたのかを小泉氏が実際に携わった事例を交えながら説明がありました。持続可能な開発目標(SDGs)ができる前のミレニアム開発目標(MDGs)から現在まで、教育

において地球の抱えている課題について時系列に整理がなされた後に、現在JICAが行っている取組みについて説明がありました。また、小泉氏のキャリアについても説明があり、国際社会においてどのようなキャリア形成をしていくことが良いのかについてアドバイスもありました。

文責:松田 デレク

(国際教育センター 兼 グローバルリーダーシップ研究所 講師)



# 第24回IGLセミナー サマプロ特別講演会

## “Education for Sustainable Development in Japan”

日時:2022年7月21日(木)18:00-19:30  
 ゲスト講師:杉村美紀氏(上智大学総合人間科学部教授、本学経営協議会委員)  
 対象:サマプログラム履修者、本学学生及び教職員  
 使用言語:英語  
 参加者数:151名(対面20名、オンライン131名)  
 共催:グローバルリーダーシップ研究所  
 Ocha Summer Program 2022 Special Lecture  
 講義内容:本講演会では、日本の公教育において持続可能な開発のための教育(ESD)がどのようにカリキュラムに導入され、発展してきたのかを実例も交えて紹介がありました。また、ESDが持続可能な開発のための目標(SDGs)との関係についても説明があり、国連が考える地球規模の問題は途上国だけでなく、先進国でも起こっているという認識を持つように強調しました。日本におけるユネスコスクールの急増についても述べられ、日本の

公教育が非常に力を入れてESD達成のための施策に取り組んでいることも確認できました。

文責:松田 デレク

(国際教育センター 兼 グローバルリーダーシップ研究所 講師)



学部生・院生の皆様へお知らせ

### 2022年度 第1回 みがかずば研究員セミナー開催!

グローバルリーダーシップ研究所では、初めての試みとして、みがかずば研究員が自身の経験を共有し、次の一歩について語り合う機会を設けます。

【日時】2022.9.22(木)13:30-15:30

事前登録制・参加無料

詳細はQRコードからご覧ください。



2022年度みがかずば研究員セミナー第1回

**玉も鏡もみがけてこそわかっていけるけどどうやって? ~みがかずば研究員が語る博士号取得のためのTIPS~**

1つが質問したいけれど、いつ、どうやって? 2つが聞き取りたいけど、どうやって? 3つが聞き取りたいけど、どうやって?

対象: 学部生・院生 他 (年内限定)

開催日時: **2022.9.22(木)** 13:30~15:30 (事前登録制・参加無料)

会場: 国際交流留学生プラザ2F 多目的ホール  
対面参加とオンライン配信のハイブリッド開催  
※既読応答終了後の懇談は対面のみ!

セミナープログラム  
13:30~13:35 開会挨拶  
小林 誠 (グローバルリーダーシップ研究所 研究員)  
13:35~14:30 みがかずば研究員によるミニレクチャー  
小泉 高子 (次長兼、OCHA) 氏、松田 徳 (学長 兼、IGL)  
14:35~14:45 昼休憩  
14:45~15:30 質疑応答(みがかずば研究員を囲んで質疑応答) / オンライン配信 同時進行 (みがかずば)

参加申し込みはこちら  
https://www.iglab.or.jp/iglab/2022/09/19/17700/ 登録 2022年度みがかずば研究員セミナー  
9.19(月)17:00 締切

お問い合わせ  
みがかずば事務局 03-5456-1111  
research@iglab.or.jp

横浜みなとみらいホール館長の新井鷗子氏を講師に迎え、7月22日に国際交流留学生プラザ多目的ホールにてIGLセミナーを対面で開催し、学内外から50名が参加しました。

講演では、共通価値の創造(CSV: Creating Shared Value)を音楽ホールに適用することで、音楽で社会課題を解決できる仕組みを「社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)=すべての人を分け隔てなく社会の構成員として包み込み、支え合うこと」をベースにつくりだしたことが紹介されました。音楽(アート)で社会課題を解決するには、コンテンツを「芸術的価値」でなく「社会的価値」の視点から見る等、アートとテクノロジーを掛け合わせてどのよう

に新しい価値を打ち出したかをコロナ禍での取り組みや社会包摂事業を例にお話いただきました。

参加した学生のコメントには「新井氏のアイデアや企画力が音楽やアートの壁をなくしたと感じ、そのような女性になりたいと思った」、「芸術を誰でも触れられるようにするために、社会的価値を生み出し積み重ねていくことが必要だとわかった」などあり、学生の視点や世界観が広がったことがうかがえました。

文責:深澤 南土実  
(グローバルリーダーシップ研究所 特任アソシエイトフェロー)



## 前期授業報告

### グローバル・リーダーシップ実習 I

学部生を対象に前期と後期に不定期で開催される「グローバル・リーダーシップ実習 I・II」ではイタリアでのリーダーシップ実習を予定しています。今年度は学部の枠を越えて、11名の学生が自らのリーダーシップ開発を目指して本授業を履修しています。コロナ禍で2年間中止となっていたイタリア実習も今年度は再開が期待されます。

イタリアでの受け入れ先であるPavia大学の女子カレッジ Collegio Nuovoを6月に訪問することができました。パンデミックの困難を乗り越えて、Collegio Nuovoの学長や教職員のみなさん、そして2019年に本学のサマープログラムに参加した現地学生との対面での再会は感慨深いものでした。次は冬に履修生とともに訪問し、イタリアでの実習の様子を改めて報告します。

文責:岡村 利恵  
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



2022年6月15日の「お茶の水女子大学論」では、ロールモデル講演の第2回として、富士通株式会社執行役員SEVPの島津めぐみ氏にご講演頂きました。島津さんは2022年1月より英国に駐在中ですが、後輩のためにと、一時帰国の合間を縫って本学に足を運んでくださいました。

島津さんは現在、大企業の幹部として責任ある立場に就いておられますが、意外にも学生時代からIT業界を目指していたわけではありませんでした。むしろ、いつかは母のように専業主婦になるものと思っていたといいます。しかし、未経験のプログラマーとして社会人生活をスタートさせた三ヶ月後に転職が訪れます。試行錯誤を繰り返しながら、最初のプログラムをようやく完成させた経験が、仕事に向き合う原点となりました。

その後は20代でプロジェクトリーダーに、30代で課長に、40代で海外プロジェクトの責任者に、50代でマネジメント職にと順調にキャリアを積んでいきますが、それぞれの役割でどのようにリーダーシップを発揮したのか、どのような信念をもって道を切り拓いてこられたのかについて詳しくお話くださいました。リーダーには権限と責任が伴うが、権限を以て会社を変えることができる。不平不満を言うくらいなら、会社を変革する幹部社員になったほうがいいという島津さんのお言葉に納得した学生も多かったようです。二度の海外駐在経験から、日本と海外とでは働き方や商習慣の違いがあること、その違いを理解して多様性を活かすことの大切さも伝えてくださいました。

最後に、学生に期待することとして、正しいものを見極めること、自分の軸を作ること、多様性を受容することの三点を挙げていただきました。情報やデータにあふれ、社会課題がグローバル化し、コロナなどの不確実性が増す社会状況の中で、「正解がないビジネスの世界」を牽引してこられた島津さん。ご自身の経験から導き出された3つの姿勢は、学生にとって今後重要な指針となることでしょう。

質疑応答では、文系でもプログラマーになることができるのか、習慣や文化が違う海外勤務において決断するには何が大切か、日本の商習慣で海外に生かせる点はないかなど、活発な質問が寄せられました。

文責：宝月 理恵  
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



## キャリア開発特論

この科目は、アクセンチュアから毎回ゲスト講師を招いて、いかにキャリア形成を考えるかについて学ぶ意図で開講されています。

土曜日の午後に集中して開講し、5月14日対面、5月28日・6月11日・6月25日オンライン、7月16日対面で行いました。

会社員の生活紹介、企業形態研究、経営トレンド、発想・議論・意思決定の仕方などを、講義だけでなく、アクセンチュア社員の座談会やグループワークを通して実践的に学びました。

学生生活ではあまり知ることのできない企業での仕事のあり方をモデルに触れつつ学び、自分のキャリアを展望する起点ができたと思います。

この科目は大学院科目で15名が履修しましたが、学

部「総合コース」としても同時開講し、学部生は35名が履修しました。お茶大OGのアクセンチュア社員3人も講師を分担してくれました。

文責：小林 誠  
(グローバルリーダーシップ研究所 研究所長)



今年度の徽音塾は8月時点で新規塾生が51名となりました。新規塾生が増加した背景として、オンライン化によって育児や介護をしながら受講が可能となったことや、リカレント教育自体の需要増が考えられます。

5～6月の「女性のエンパワーメントとリーダーシップ講座」では、女性をエンパワー、エンカレッジする様々な専門や業種の講師によって進められ、6講座が無事に終了しました。7月からの「お茶大プロフェッショナルレクチャー」は、今年度は「SDGsについて学ぶ」をテーマとし、本学教員によるプロフェッショナル講座として構成されています。さらに7月末にはビジネス講座も開始しました。各講座とも、塾生

からの積極的な発言や質疑応答が途切れず、意欲的に参加する塾生の姿が多く見られたことが印象的でした。

ランチを兼ねて塾生同士のネットワーク構築をはかる「オンライン・ネットワーキングランチ」では、塾生から徽音塾の印象や徽音塾への期待を聞く良い機会にもなりました。今後も塾生と交流をはかりながら、引き続き働く女性の学びに寄与する場を構築していきます。

文責：深澤 南土実  
(グローバルリーダーシップ研究所  
特任アソシエイトフェロー)



### 2022年5～8月開催の講座

(E) 女性のエンパワーメントとリーダーシップ講座、(P) お茶大プロフェッショナルレクチャー、(B) ビジネス講座

2022年5～8月 開講科目		
(E)	5/14	「女性の生活が楽になる女性学～忙しい中でも自分らしく～」(石井クンツ昌子)
(E)	5/21	「自分と次世代のための流されない生き方～人生のハンドルは自分が握る～」(岩田千栄美)
(E)	5/28	「女性管理職はいかにして育つかーダイバーシティとリーダーシップからの検討」(岡村利恵)
(E)	6/4	「あなたの背中を押します！ ～アカデミアの役割と活用方法～」(藤原葉子)
(E)	6/11	「コロナショック後で多様化するワークスタイルとキャリア形成」(渡邊享子)
(E)	6/18	「仕事も家庭も！頑張るけれど自然体で」(小西雅子)
(P)	7/2	SDGsについて学ぶ ①「地球規模の食料問題の解決に向けたコオロギが支える循環型食料生産システム」(由良敬)
(P)	7/9	SDGsについて学ぶ ①「心理学的側面から見たLGBTQ」(石丸径一郎)
(P)	7/23	SDGsについて学ぶ ①「健やかな生活とジェンダー平等」(斎藤悦子)
(B)	7/30・8/6	働く女性のための会計学「会計基礎力を身に付けるー取引記録の仕組みと企業活動の成績表ー」(櫻井康弘)



微音塾は企業等で指導的立場に就くことを目指す女性、また多様な分野・立場でリーダーシップを発揮することを目指す女性を広く応援し、可能性を開花させるための学びとネットワーク構築の場を提供しています。詳細と各講座申込みは、微音塾ホームページをご覧ください。  
※「きいんじゅく」で検索も可能です。

### 2022年度 開催概要

時間：13:30-16:40 (すべて土曜日)

形式：Zoomを使うオンライン講座

※ PCでの受講を推奨します

※ 1科目から受講いただけます

※ 最新情報はHP、Twitterをご覧ください



HP



Twitter

### 2022年9月～2023年2月開催の講座

お茶大プロフェッショナルレクチャー (P) 3科目、ビジネス講座 (B) 5科目を開講します。

2022年 開講科目		
(P)	9/3	SDG s について学ぶ ②「私たちと地球の健康～食べ過ぎと食べ残しを減らすために何ができるか～」(赤松利恵)
(P)	9/10	SDG s について学ぶ ②「環境科学から見たごみ問題と SDGs」(中久保豊彦)
(P)	9/17	SDG s について学ぶ ②「生態学から土地利用の将来を考える」(服田昌之)
(B)	10/15・22	働く女性のためのイノベーション創出方法「新規事業開発に効く！イノベーション創出の思考法」(鹿住倫世)
(B)	11/5・22	働く女性のためのマーケティング「マーケティング入門」(神原理)
(B)	12/3・10	働く女性のための表現力とコミュニケーション術「文字・声・画像が創り出す印象とコミュニケーションへの応用」(内藤章江)
2023年 開講科目		
(B)	1/14・21	働く女性のための意思決定とセルフエフィカシー「貴女のリーダーシップを磨くよりよいキャリアを積むために」(高田朝子)
(B)	2/11・18	働く女性のための法政策・法制度「働くあなたを守る、知っておきたい労働法」(内藤忍)

## お知らせ

### IGLから

#### ◇第26回IGLセミナー開催

【開催日時】2022.11.18(金) 16:40-18:10

【講演者】佐野真由子氏

(京都大学大学院教育学研究科教授、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 理事、文化庁 文化審議会 専門委員)

【参加費】無料

【会場】対面とZoomによるハイブリッド開催

【対象】どなたでもご参加いただけます

【申込】HP内の専用フォームにて

#### ◇Ocha-IGL Award 2022

IGLではエッセイコンテストを開催中です。奮ってご応募ください。詳細はIGLのHPをご覧ください。

#### ◇国際シンポジウム開催

IGLでは2022.12.23(金)に国際シンポジウムを開催予定です。オーストラリアより登壇者をお招きして“Climbing up the Glass Cliff: Another Invisible Barrier behind the Glass Ceiling”というテーマでお話させていただきます。詳細はIGLのHPをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。

#### ◇リーダーシップ関連図書が図書館にりました

IGLの蔵書コーナーがお茶大の図書館に設置されました。リーダーシップ関連の書籍がたくさんありますので、ぜひお読みください。



## 後期集中講座 2022年度「アカデミック女性リーダーへの道(実践編)」開講

大学院生(博士前期・後期)課程を対象に、日本学術振興会特別研究員の申請準備、研究発表におけるプレゼンテーションのスキル向上を目的とした3日間の集中講義を開催します(2023年1月末~2月上旬開催予定)。

(1) 審査員経験教員・現特別研究員による準備講座、  
(2) 仮申請書の個別指導、(3) プレゼン演習とフィードバックなど、非常に実践的な内容で構成されます。

次年度の学振特別研究員の申請、外部資金獲得、大

学・研究機関の公募書類などの準備をお考えの方、文系、理系を問わずぜひ受講してください。聴講も歓迎します。  
※授業詳細については、現在調整中です。研究所のウェブサイトに最新情報をアップデートしていきますので、確認するようにしてください。

文責: 宝月 理恵

(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

## 後期授業

グローバルリーダーシップ研究所では、2022年度後期に以下の授業の開講を予定しています。  
学生の皆さんの積極的な受講を歓迎します。[CDP: キャリアデザインプログラム基幹科目の授業です。]

授業名	開講時期	内容
女性のキャリアと経済 [22N0092] (学部) [CDP]	火曜 9・10限	社会の第一線で活躍中のゲスト講師の講演から、仕事やキャリア展開を考えるとともに、関連する話題について受講生が自らの意見や考えを主体的に発表・議論する授業です。
女性のキャリアと法制度 [22N0094] (学部) [CDP]	水曜 5・6限	ジェンダー視点から「女性の労働・就労」や現代のライフコース選択に関わる様々な問題について分析・考察し、働く女性に関する法制度について学ぶとともに、受講生自身のキャリア形成について考えます。
ダイバーシティ論 [22N0095] (学部2~4年生) [CDP]	火曜 7・8限	特に組織におけるダイバーシティに焦点を当てながら女性のリーダーシップについても学びます。ダイバーシティを推し進めるにはどのような「仕組み」が有効なのか、アクティブ・ラーニングやインタラクティブな授業を通じて履修生と一緒に考えます。
グローバル・リーダーシップ実習Ⅱ [22B2100] (学部)	不定期	授業で学んだリーダーシップスキルを実践できるように、大学の内外で提供される様々な機会を活用し、社会やコミュニティとのつながりのなかで国連サミットが掲げるSDGsのような現代的諸課題を意識しながら自らのテーマを見出し、自己の成長にとどまることのない、より広い意味でのリーダーシップを探求します。